学校教育目標　さわやかな若者を育む

学校報　小倉山通信

角館中学校【No.31】H25.11.11(月)発行

こつこつ、さらにこつこつ、そして学力向上！

後学期が始まり約３週間です。

今月１日（金）に、指導主事の先生にお出でいただき授業の様子を見ていただきました。

私も一緒に校内をまわりましたが、９月下旬の頃と比べて、授業がしっとりと落ち着いている印象を強く受けました。いずれにしても、授業に集中し、こつこつと粘り強く努力を積み重ねることが、学力向上の第一歩です。

１年生：国語「つながりを読む」

２年生：英語「A New Lannguage Service」

３年生：技術「タッチライトの製作」

１年生：美術「見つけようお気に入りの風景」

２年生：社会「九州地方」

３年生：国語「いにしえの心を語ろう」

寒さが一段と厳しくなり、冬の準備も始まりました

１０月５日（火）のすずかけの道

９月下旬、『今年の冬も「寒冬」傾向で、日本海側を中心に大雪も』との予報がだされ、冬の除雪などのことを考えると少し気分が落ち込みます。

恒例のすずかけの木の枝切りも始まっています。この作業は、樹高を低く抑え、枝を張らせない（落雪対策もあるのでしょうか）ためだそうです。

私の家にもかつてすずかけの木があり、高校生の頃から、枝切り作業は私の役割になっていました。ある年、下から枝を切り落とし、一番上の枝を落とそうとしたらそこにヘビが・・・・」。怖かった思い出です。

栄光・栄誉

第２８回　中仙親善少年バスケットボール大会　女子　第３位　　優秀選手賞　青山　凜

生徒会役員選挙、しっかりとバトンパスを！

立志！１４歳になることの重い意味

角中は「立志」を強く意識して教育活動をしてきました。

昔の元服にならい、２年生で「立志式」を実施している学校があります。「なぜ２年生で立志式なのか」は、私見ですが、中学校３年間は過ぎてしまえば短く感じますが、実際は長く、特に２年生の頃には中だるみになりがちです。ですから中学校生活半ばの１４歳になる時期に、決意を新たにし再スタートの意味があると思います。

さらに、１４歳は、法律的に責任能力があるとされる重い意味を持つ年齢でもあります。

明日（１２日）は生徒会役員選挙です。

今年度１４歳になる２年生、中学校生活に慣れてきた１年生へ生徒会のバトンが引き継がれます。来年の創立３０周年に向け、「立志」を意識し、さわやか角中を目指してスタートを切ってほしいと思います。

生徒会役員選挙立会演説会（昨年度）

全校スケッチ会も途中で帰校しました

天（気）は角中を見放した？ のかなあ～

古い話ですみませんが、「八甲田山」という映画がありました。

明治時代、八甲田山での冬季軍事訓練中に、悪天候で多くの人達が遭難して亡くなったというお話で、特に、いよいよ最期という時の「天は我々を見放した」という台詞が大変印象的でした。

本校も、１０月初めのすずかけ祭は、天候に恵まれ多くの皆様にお出でいただきました。しかし、それ以降の行事は、雨・台風等で中止や延期が多く、まさに「天（気）は角中を見放した」という感じがしました。

本日に延期されていた全校スケッチ会も、雪の予報があり心配しておりましたが、今朝は秋晴れになり幸運と思いながらスケッチ会を開始しました。しかし、残念ながら雨により途中で帰校し、教室で仕上げの作業となってしまいました。

１０／８・９	美郷駅伝試走（雨で中止）		１０／１１	防犯パレード（雨で中止）
１０／　１６	美郷新人駅伝（台風で中止）		１０／２２	校内駅伝マラソン大会（雨で中止）
１１／　　７	全校スケッチ会（雨で延期）	→	１１／１１	全校スケッチ会（雨で途中で帰校）

天気についてはどうしようもありません。

しかし、天気からは見放されても、中止になった学校行事のねらいを補いながら、地道な教育活動を継続していきたいと思います。それにしても、今年の秋は天候不順だったと改めて思います。